



横浜市立つづきの丘小学校
学校だより つづきの空

華いっぱい 夢いっぱい つづきのある学校

5月号

令和3年4月30日

価値ある学び

校長 田淵 恵子

いくつもの花房が咲きにぎわう正門の藤が、初夏のさわやかな風に揺れています。「おはようございます」と、丁寧にお辞儀をしながら挨拶をする子、「今日は、〇〇が楽しみなんだ」と笑顔で話す子、「かわいい花を見つけたよ」と嬉しそうに報告してくれる子。子どもたちは、いきいきと学校生活を送っています。



このたびの新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、まん延防止等重点措置の適用を受け、学校では、児童の安全・安心な教育活動のために、「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」等に沿って、慎重に感染予防対策に努めています。コロナウイルス収束に向けて先の見えない状況が続いていますが、引き続き児童の安全・安心を第一に考え、「教育を止めずに、価値ある学びをどうしたらできるのか」と教職員一同で知恵を出し合いながら教育活動を進めています。

新年度がスタートし、各ご家庭には年間行事予定をお知らせしたところですが、昨今の情勢を鑑み、今年度の宿泊・修学旅行等の行事を安全面や教育的な意義と照らし合わせながら、時期や場所等を見直すことにいたしました。4年生の上郷宿泊体験学習は市内の社会科見学に、5年生の宿泊体験学習と6年生の修学旅行は、行先を県外から県内に変更いたします。日程や場所等の詳細については、現在検討を重ねています。決まり次第、お知らせいたします。

新学習指導要領には、社会科見学や宿泊行事のねらいとして、「平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化等に親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳について体験を積むこと」とあります。様々な体験活動の場は、子どもの心を豊かにし、自己実現を図ろうとする態度を育む機会になります。また、よりよい人間関係を形成し、集団意識を高める上でも効果的な場ともなります。コロナ禍の中で、感染防止対策と教育活動の両立には多くの制約があり、「人・こと・もの」との交流は希薄になっています。しかし、大事なことは、子どもの成長にとって必要なことは何かです。その上で、今しかできない経験を大事にしていきたいと考えます。これからの時代を生きる子どもたちには、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え判断し、行動していく力が求められています。その力を育むためにも、体験的な学びは、大切な学びの一つです。価値ある学びを止めないためにも、感染予防措置を十分講じながら、できる限り実現していく方針です。

今後も、子どもたちの健やかな成長とよりよい学校づくりのために、子どもの成長にとって価値があるかということを基に、魅力的で楽しい、充実した教育活動を行ってまいります。引き続き、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。